

(公財) やまがた育英会

駒込学生会館 板橋学生会館

寮生保護者 各位

(CC:卒寮生、評議員、監事、理事各位)

「コシ」もばっちり！

～香川寮でうどん打ち体験～



北海道から沖縄県まで、都内には地方出身者を受け入れる各都道府県の学生寮が40以上あります。その中の一つ、港区三田にある香川育英会東京学生寮（入寮者100人）からお誘いを受け、6月28日（日）、「うどん打ち体験交流会」に行ってきました。

香川と言えば言わずと知れた「うどん県」。人口1万人当たりのうどん店は5.08店で全国1位。「信号機の数より多い」とまで言われるそうです。数年前、四国旅行をした際に香川にも立ち寄り、ガイドブックで紹介されたうどん店をはしごしましたが、朝6時過ぎにはもう行列をなしているのに驚きました。しかも安くてうまい！

▲シャツもそろえ、気合を入れて参加した精鋭6名

その本場のうどんの打ち方を体験し、また香川県の寮生と交流を図ろうと駒込男子寮長以下、精鋭6名が参加してきました。

讃岐うどんの最大の特徴は「コシ」。コシとはもちもちとした弾力と粘りのことで、麺を伸ばすとスーッと伸び、離すとギュッと縮むような力強い噛み応えがありますが、硬すぎず喉越しも良いのが特徴です。

『讃岐うどん伝道師』の厳しい指導のもと、この催しのため取り寄せた香川県産の小麦粉に塩分濃度を調整した塩水を加えてこね、まとまったところで「足踏み」です。二重にした袋の上から体重をかけてしっかり踏んでいきます。「鍛え」とも呼ばれるそうで、こうすることによりグルテンが活性化し、コシが強くなるんだとか。他の参加者が恐る恐る踏んでいるのに対し、わが山形メンズは、筋トレよろしくバシバシと足踏みし、場の盛り上げにも大いに貢献してくれました。

▲見て～！うまいでしょ



▲麺棒で伸ばします



▲小麦粉に塩水を入れこねていきます



▲3mm 幅に切って
いきます。ゆでると
1.5 倍の太さに

寝かせた生地を麺棒で伸ばし、それを折りたたみ、また伸ばすを繰り返して、押し切りで切っていきます。太い細いがあるのはご愛敬。ここからは調理スタッフにバトン

を渡し、大釜で10分以上茹でて、いりこの出汁をかけ、地元では天ぷらと呼ぶかまぼこを載せて「手打ち讃岐うどん」の完成です。自分で打ったうどんは本場の出汁のうま味も手伝い美味しさは抜群だったようで、山形勢は全員もれなく3杯お代わりするほどでした。

イベント終了後、香川県スタッフにお礼メールをしたところ、こんなうれしい返信がありました。

<以下原文のまま>

うどんの足踏みやクイズ大会があんなに盛り上がったのは山形のお兄さんたちが良いリアクションしてくれたおかげで「チーム山形には本当に感謝しなきゃ！」

とみんなで話しておりました。

司会の話を聞くとときはちゃんと聞いて、盛り上げるところは盛り上げて・・・というかんじで、イベント慣れているというか、メリハリのある楽しみ方をされていて素敵でした。

本当に助かりました！ どうぞよろしくお伝えください。

香川県東京事務所 産業振興部 藤原美和子

寮監は付き添いでしたので手打ちうどん作りはしませんでした。返信メールに思わず手を打ち（拍手し）ました。



▲上手に切れました



▲完成した手打ち
「讃岐うどん」



▲自分で打って食べてお代わり
(充実感と満足感)

地元企業の良さを知ってほしいと

～県内企業8社の若手社員との懇談会～

7月17日（金）、やまがた育英会の学生と県内企業若手社員との「カジュアル交流会」が駒込学生会館で開催されました。全国に名を轟かす有名企業ではないけれど山形にも優良企業がたくさんあることを知ってもらい、Uターンのきっかけにしてもらおうと山形県庁雇用・産業人材育成課の主催で実施されたもの。山形からは東ソー・クオーツ(株)やミクロン精密(株)、東北エプソン(株)、(株)荘内銀行など8社の社員が来寮し、1～3年まで20名あまりの寮生と懇談しました。

参加企業の紹介の後、グループに分かれて山形で働く魅力や企業の雰囲気、就職活動の体験談などについて山形銘菓を食べながら入社10年未満の若い社員の方々と交流し、将来の就職活動の参考にしていました。



▲若い社員の方々と会話し情報収集する寮生



▲八王子・新宿方面が望める展望スポットで

の良さもあり登山者数は年間 300 万人と世界一の数を誇る名所です（ちなみに富士山の年間登山者数は 20 万人）。標高は 599m。蔵王、月山、鳥海、吾妻、飯豊、朝日と日本百名山に数えられる秀麗な山形の山々にはかないませんが、空を覆う高層ビルが林立する東京でも少し足を延



▲急な坂も笑顔で登っていきます

ばせば魅力的な自然に出会えることを知ってもらおうと企画し、今回が 2 回目です。普段のパソコンやタブレット端末、スマホとにらめっこの生活から解放され、緑深い自然の中で、のんびり過ごしてもらいたいとの思いもありました。

この日は午前 8 時に駒込寮を出発し、JR 駒込駅から新宿駅で京王線に乗り換え、9 時 30 分に高尾山口駅に降り立ちました。高尾山の登山道は複数ありますが、今年は見晴らしのいい尾根づたいを上る「稲荷山コース」を選択し、奥高尾の小仏城山（670m）まで足を延ばすことにしました。

登山口から山頂直下までは約 3 km で、途中で急斜面もありますが、若い寮生は急な上りもなんのその。通常のコースタ

イムは 1 時間 40 分と表示されていましたが、休憩を入れつつ 1 時間あまりで山頂直下の 5 号路分岐に到達しました。そして富士山が望める紅葉台を経由し一丁平から城山へ。午前 11 時 30 分、ここで昼食を摂り、柔らかな草の上に寝転んでしばし夢の世界に浸りました。

その後取って返して、最終目的の高尾山頂へ到着。休日ということもあり山頂は多くの家族連れや外国人で賑わっていました。大混雑の山頂標柱前で記念写真を撮り、薬王院で手を合わせ、名物の三福だんごをほおばり、体も心も満足した様子で午後 4 時に下山の途につきました。

「ちょっと疲れたけど気持ちがすっきりした」「山形に帰ったら近くの山に登りたい」「“ヤッホー”と大声を出したのも楽しかった」など寮生からはおおむね満足の評価でしたが、安全を考え前の週に下見をしてきた寮監の一番の満足は「全員無事の帰寮」でした。

山はいいなあ～

ミシュランガイド 3 つ星に登る

▲紅葉台からの富士山



少し前の話になりますが、5 月 17 日、寮生有志で高尾山登山に行ってきました。

2007 年に「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」での最高ランクの 3 つ星評価を受け、都心から電車で約 1 時間というアクセス



▲心地よい風が吹く木陰で寝転ぶ



（高尾登山電鉄 HP から）

ゴーヤでグリーンカーテン

年々厳しさを増す夏の暑さ。東京では、昨年、35℃を超える猛暑日が過去最多を更新しました。三重大学 立花研究室の調査によれば『夏の期間（日数）』が昭和 57 年（1982 年）の 97 日から令和 5 年（2023 年）には 118 日とこの 42 年間でなんと 3 週間も増えています。

地球温暖化防止には社会全体で CO₂排出量を減らすことが求められています。とは言っても「地球環境より生活環境」との声は聞こえてきますが、大切なのは一部の人や企業が頑張るのではなく、多くの人が無理のない範囲で出来ることを実行すること。やまがた育英会では、事務室前の中庭にゴーヤを植栽し、その葉で日光の直射を遮り、少しでもエアコン使用を控え CO₂削減に貢献する取り組みを 4 年前から行っています。語呂合わせで「ゴーヤの日」の 5 月 8 日に植栽した双葉の苗は、今では高さ 3 m 近い立派なグリーンカーテンに成長し、ビタミン C やカリウム、葉酸を多く含む無農薬栽培のその実も駒込寮夕食時の小鉢の一品に姿を変え、栄養の面でも貢献してくれています。



▲茂った葉が直射を防ぐグリーンカーテン



■収穫したゴーヤ
ビタミン C、カリウム、
貧血予防に役立つ葉酸
を多く含む。苦味成分
の「モモルデシン」は抗
酸化作用を持つ



▲寮生へのプラス1品として提供した
「ゴーヤの天ぷら」。揚げると苦み
が少なく好評（だったはず）

寮生のために役立てて



▲寄付金贈呈のため来寮された宮川
支部長（左）と鈴木副支部長（右）

～嚶鳴同窓会東京支部から寄付金～

7 月 3 日、嚶鳴同窓会東京支部の宮川香子支部長と鈴木みゆき副支部長が駒込学生会館に来寮され、「学生のために活用してほしい」と 67,500 円を当財団に寄贈くださいました。

嚶鳴同窓会は県立山形西高校卒業生の会で、6 月 14 日に椿山荘で開催された東京支部総会には 200 名余りが出席。山西卒の寮生は 6 名おり、全員をご招待いただきましたが、その中から 1 年生 2 人が参加してきました。会終了時に募金箱が設置され、その後ろに寮生 2 人が広告塔よろしく立ったこともあり、「がんばってね！」と声を掛けられ、寮生が出席できなかった昨年と比べ、倍近い金額が集まりました。今回頂いた寄付金は学生の海外留学（遊学）の支援に活用することにしています。

嚶鳴同窓会東京支部様からは毎年寄付を頂戴しており、紙面を通じて改めてお礼申し上げます。

「やまがた育英会」美術品シリーズ ⑩

駒込学生会館、板橋学生会館には多くの絵画や美術品が飾られています。それらをシリーズで紹介しています。

板橋学生会館 玄関の日本画 蔵 王

◇作 者 小松 均 (こまつ ひとし 1902-1989)

◇大きさ タテ 40 cm×ヨコ 50 cm

(ガラス反射をお許してください)

【略 歴】

- ・日本画家 (1902～1989)
- ・1902 年 北村山郡大石田町豊田生まれる
16 歳まで村山市白鳥に住む
- ・1920 年 川端画学校入学 土田麦僊に師事
- ・1979 年 「雪の最上川」で院展 内閣総理大臣賞受賞
- ・1986 年 文化功労者
- ・1980 年 大石田名誉町民 村山市名誉市民



海外留学（遊学）の帰国報告

令和 7 年度から寮生への「海外留学（遊学）支援」を試行しています。この制度を利用して 13 人が海外に出かけており、帰国後、直近のイベントや寮会でその成果を発表しています。

7 月 17 日（金）に開かれた駒込寮会では、令和 7 年度留学生の最後となる館野君が報告をしました。その概要を簡単に紹介します。

イタリア留学

館野 内護 君 (早稲田大学 国際教養学部 3 年 山形東高卒)

○期 間 令和 7 年 9 月～令和 8 年 5 月 (8 ケ月 途中一時帰国)

○留学先 ヴェネツィア国際大学(Venice International University)
(イタリア)

○内 容 **【1 学期目】** (9 月上旬～12 月末)

- ・イタリア語初級・芸術・文化財
- ・地中海文化・宗教 (ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)

【2 学期目】 (2 月上旬～5 月末)

- ・イタリア語中級・ヴェネツィアの歴史・地中海食文化・ヴェネツィアの自然環境



▲館野内護君



▲寮会で発表する館野君



▲友人の誕生日パーティで（自作のから揚げが
大好評だった）

○気づきと感想

- ・2期通じてイタリア語を履修したため、日常生活でほぼ支障なく話せる語学力を修得できた。
- ・留学に行った人はよく「○○が違った」「○○が日本のそれとは全然別物だった」といった「相違点」に注目するが、私は反対に「共通点」に留学中何度も心を動かされた。イギリス、フランス、ベルギーなどのヨーロッパとアメリカからの留學生が中心で、全くバックグラウンドの異なる彼らと美味しいと思うもの、面白いと笑う場所、楽しいと思うものはかなり似ていた。例えば、友達の誕生日パーティに唐揚げを作って持って行ったところ大好評で、醤油と生姜とニンニクという日本的な味付けが海外の人にそこまでハマるのかと不思議な気持ちになると同時に嬉しかった。また、普段の生活の中で飛ばし合う冗談なども、日本語で話す内容をそのまま英語で言うと笑ってくれたり、また自分も相手からのそんなジョークに笑わされた。全く違う人間が、共通の言語でコミュニケーションを取り、文化や思想の違いも超えて感覚を共有する、これはものすごいことだなと感じ、これを社会に出ても生かしていきたいと考えている。

芝蘭結契

～寮生の活躍にみんなで拍手～

「芝蘭結契」とは、よい感化をもたらす才能・人徳に優れた人との付き合いのこと。スポーツに限らず音楽や絵画、文芸などの芸術文化、各種コンテスト、サークル活動などでの寮生の活躍を紹介し、みんなで称えあいいたいと考えています。それが、寮生の気づきや励みにもなるからとの思いです。



▲理科大チームの人力プロペラ機

「鳥人間コンテスト」に情熱をかける

宮田 和斗 君（東京理科大学 創域理工

学部4年 米沢興譲館高卒）

毎年7月末に琵琶湖で開催される「鳥人間コンテスト」。2025年大会の「人力プロペラ機部門」で東京理科大チームは471mを飛行し、7位入賞を果たしました。

宮田君は同大鳥人間コンテストサークル「Aircraft Makers(エアクラフトメーカーズ)」(部員30人)に所属し、プロジェクトマネージャーとして機体の設計や製作に携わり、両翼幅27m、全長8m、重さ38kg、しかも分解すれば2tトラックに積載できるコンパクトで美しい機体に仕上げました。大学の講義や実験の合間を縫う



▲パイロット（左）と宮田君（右）



▲飛行が終わった機体を回収し指示を出す宮田君

忙しい中での作業は深夜まで及んだと言います。そして静岡県富士川滑空場でのテストフライトを経て本番に臨みました。

当日は、操縦するパイロットに状況に応じた的確な指示を出し、またチームをまとめる中心として活躍。北海道大、東京科学大、早大などの強豪を抑える見事な成績を収めました。

「もともとモノづくりをするサークルに入りたかった。学業との両立は大変だったけどプロジェクトマネジメントの勉強にすごくなった」と宮田君。細い体には大きな情熱が秘められていました。

(今年も8月末に『鳥人間コンテスト』のTV放映<読売テレビ系>があります。ぜひご覧ください)

新入寮生紹介



7月19日から駒込学生会館に新しい仲間が加わりました。

かとう なつ
加藤 捺さん (青山学院大学 文学部1年 致道館高校卒・鶴岡市)

みなさんどうぞよろしくお願いいたします。

暑中お見舞い申し上げます。



暑い日が続いております。寮生御父母、また関係のみなさまが健やかに
お過ごしになられるよう、お祈りいたしております。

公益財団やまがた育英会 代表理事 鈴木 礼子

(公財) やまがた育英会

寮 監 石 井 隆

ご意見・ご感想をお待ちしています

t-ishii@yamagata-ikueikai.or.jp